

まちなか公共空間デザイン調査研究業務報告書

概 要 版

令和3年3月



まちなか公共空間デザイン調査研究業務委託についての概要

1. 本業務について

2022 年度九州新幹線西九州ルート of 暫定開業を控え、「西九州のハブ都市」を目指したまちづくりに取り組んでいる。市内には JR 武雄温泉駅(約 130 万人)を中心として、武雄温泉(約 31 万人)、武雄市図書館・歴史資料館(約 100 万人)、文化会館、白岩運動公園、武雄競輪場などが点在しているが、それぞれの施設間の往来は少なく、市内の滞在時間が短い状況にある。

こうした状況の中、人が集まり、滞留する空間を創り出す可能性のあるまちなかの公共空間(中央公園、まちなか広場、旧さぎの森公園、旧市役所跡地、駅前広場、鉄道高架下など)の快適性・居住性を高め、誰もが使いやすい・人が集まる居場所に変えていく多機能化・高質化に必要な仕組みや整備等について調査研究することで、まちなかの施設等を効率的につなぎ回遊性を高めることを目的とする。

本業務において、武雄市におけるまちなかの**公共空間を使った社会実験**やイベント等の提案、及びエリアの将来像を明確化し、将来的な使い方を見据えた**空間デザインの検討**を行った。

2. 調査前における「まちなか公共空間活用について」の仮説

【考え方】

- ①九州新幹線西九州ルートで鳥栖～長崎までがつながる中で、「武雄で降りよう」と思う明確な動機付け・差別化が必要になる
- ②公共空間は「市民が使いやすい公共空間であるべき」。そのためには規制の緩和が必要で、実証実験などを積極的に行っていくことが求められる
- ③観光はもっと地域住民や企業、観光客と一緒に作り上げていくものになるべきで、オーバーツーリズムのように観光地の住民に負担が及ぶのではなく観光が地域に住む人の生活の質を上げなければならない。観光客として扱われたい観光客は減っていき、その土地らしさを感じながら住民の疑似体験ができる観光を求める観光客が増えていく

【武雄市の特性】

- ・かつての武雄市図書館が従来型の図書館から生まれ変わり新しい公共空間のあり方として根付いたように、武雄には新たな文化を取り入れて根付かせる力があり、他都市との差別化のポイントにもなると考えている。
- 公共空間を多機能化しもっと使いやすくすることで市民の自発的な活動が生まれ、「他都市でできないことができるまち」として、来街者の増加と滞在時間の増加を目指す。



【コンセプト】

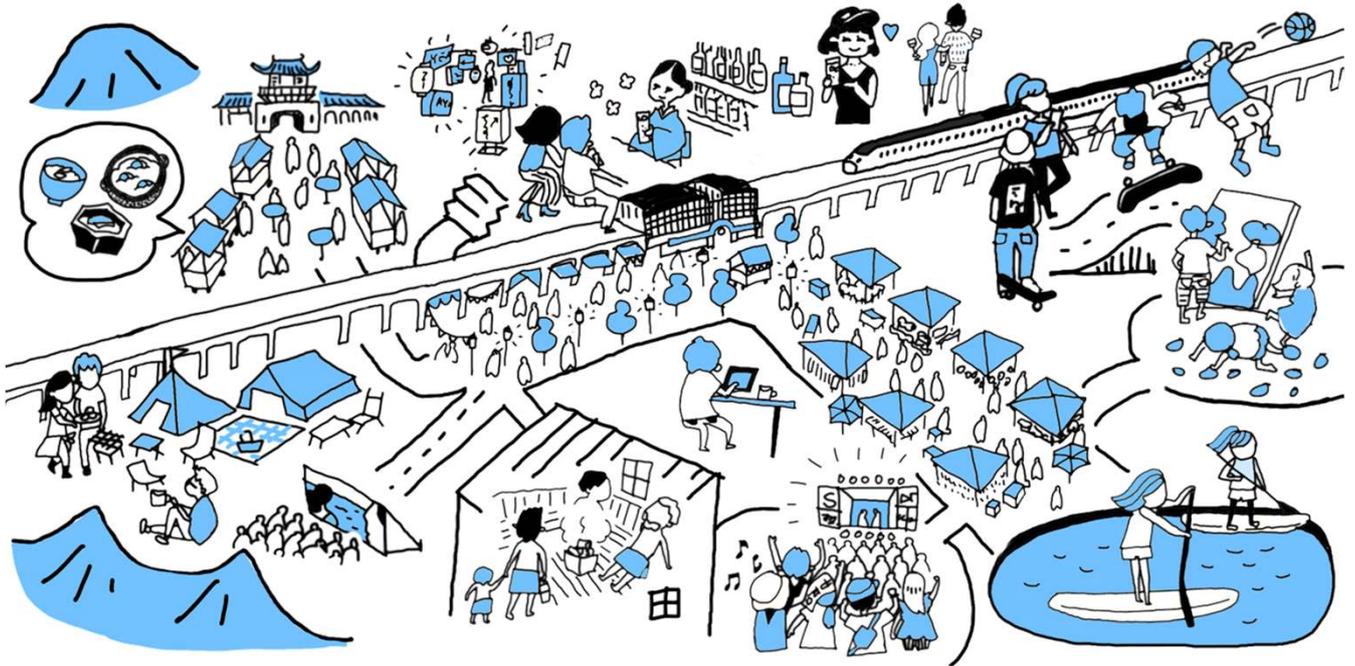
ニューカルチャーが生まれるまち

【実施方針】

・公共空間の活用が、一過性のものではなく継続し文化として根付くには、活用に関わるすべての人にとって「使いやすいこと」が大切であると考えている。そのため、空間を活用する“事業者の視点”“地域住民の視点”“来街者の視点”を持ち、3つの視点で調査を行う。

【本業務を通じて目指す武雄のありかた（仮説）】

TAKEO NEW CULTURE が生まれるまち



図書館
×カフェ



自然×
デジタル
アート



NEW!

広場×アート
気軽にアートやデザインに
触れられる広場



NEW!

朝がゆ×歩道
武雄鍋島粥を食べ
比べできる歩道



NEW!

広場×サウナ
屋外サウナ体験
できる広場



NEW!

温泉×
ワーケーション
温泉に癒されるワー
ケーションの拠点



NEW!

泊まれる公園
キャンプで
泊まれる公園



NEW!

温泉×フェス
音楽ライブが
聞ける温泉



NEW!

高架下×バル
お店で賑わい
飲み歩ける高架下



NEW!

映画×駐車場
映画が観れる
駐車場



NEW!

高架下
×スポーツ
音を気にせずスト
リートスポーツが
できる高架下



NEW!

水辺×SUP
水上アクティビティが
できる河畔公園や湖

※記載項目はあくまでも仮のものであり、実際は現地踏査やヒアリング等を行った上で決定します。

3. 調査

はじめに、実証実験の場所や内容を企画する際の足掛かりとして、まちなかの公共空間の課題や可能性を探るため、業務対象範囲である武雄温泉駅周辺にて現地踏査および地域関係者ヒアリングを行った。



①現地踏査まとめ 1/2

<武雄温泉楼門周辺>

- ・アイコンとして浸透している楼門をうまく告知等で表に出しながら、**建物内を活用できれば武雄らしさを生かすことができる。**
- ・駅から少々離れているため**こちらへとつなぐ工夫**は必要である。



<旧さぎの森公園周辺>

- ・武雄温泉楼門の近くにあり、**駐車場としての利便性**は高い。
- ・気軽に立ち寄れるような飲食店がいくつかあり、このような店舗が**周辺の空きテナント等も活用**しながら増えることで、賑わいを生むことができそうである。



<まちなか広場周辺>

- ・武雄温泉駅からも近く、楼門との中間点にあること、そして交差点でもあることから、この場所が武雄のまちなかの回遊性を高めるキーになりそうである。
- ・中心地に**駐車場**が少ないため、ここを活用することも検討できれば良い。



<高架下空間周辺>

- ・スナックが近接しているので、この空間も含めて**ナイトタイムエコノミーの推進**はできそうである。
- ・音が気にならなければ、**スケボーパーク**を整備することも良さそうだが、周辺に民家も見られる。



<武雄温泉駅周辺>

- ・**レンタサイクル**を使った回遊促進をより押し出してもいいのではないかと感じた。



①現地踏査まとめ 2/2

<駅北口駅前広場周辺>

- ・バスや電車を待っている間などの有効活用が期待される。
- ・現在はあまり活用されておらず勿体無い印象。



<中央公園・旧市役所跡地周辺>

- ・丁寧に手入れされた芝生で、デイキャンプなどをしても快適に過ごせそうな印象。トイレも近い。
- ・川沿いの階段を客席に、対面で映画を流すなどアイデアとして挙げたが、民家が近く難しい印象。
- ・旧市役所跡地は平地で広いため、イベント会場としては最も使いやすいそうである。



<武雄市庁舎周辺>

- ・1階のフリースペースは市民の憩いの場としてされている。回遊の拠点となりうる。
- ・市役所前や1Fホール、3Fのデッキも活用できそうである。活用例：市職員や市庁舎へ訪れる市民など一定数の集客が見込まれることから、マーケットの実施、チャレンジショップの出店など



<笹町河畔公園周辺>

- ・公園は敷地の形が使いづらい印象。
- ・前を通るのは多くが車のため、飲食スタンド等を設置しても立ち寄りづらく運営が難しいのではないかと感じた。
- ・河川横の芝生部分はイベント的で心地よい空間づくりができそうな印象だが、こちらも民家が近い。



<武雄市図書館周辺>

- ・楼門と同じく単体で集客力を持つ観光スポットである。
- ・流鏝馬の土部分を活用できそうである。
- ・歩行者視点での、他エリアとの回遊性を高める必要があると感じた。
- ・図書館周辺には武雄市文化会館と庭園がある。図書館と合わせた取り組みをすることで面的な場の活用ができ、回遊性が高められる可能性がある。(例えば各会場で映画上映会を実施するなど、文化をテーマとしたイベント等)
- ・現在は、視覚的にそのような場所があることがわかりづらいためサインの改善やPR等も要検討。



<白岩運動公園周辺>

- ・競技場の芝生は整備が行き届いており、運動用途とは別に、くつろげる空間を生かしたアウトドアシアター・ミュージックフェス・キャンプなどを行う場所として活用できる可能性を感じた。
- ・ただ武雄温泉駅からも距離があるため、交通の利便性を高める必要がある。



4. 課題・可能性

現地踏査・地域関係者ヒアリングを踏まえて対象エリア内外の課題と可能性の整理を行った。

【地域課題】

| 設備 | 景観 | 空き家 |
|--|---|---------------------------------|
| わかりやすい 駐車場 がほしい。 | 温泉通りはのぼりを立てないと寂しい。 普段温泉から帰る人は通りを通らない | 温泉通りの空き店舗は所有者と連絡がつかないことが多い |
| 仕組み(運営側) | 仕組み(客側) | 情報発信 |
| 温泉通りは 駐車場もトイレ なく、また、通りを長時間通行止めにするのが困難。 武雄温泉を拠点にするとメディアに露出できるため魅力的。 楼門 は動線も作りやすく、朝市をやりたいが、 私有地 のため難しい。 | 観光客がわかるよう 駅から温泉通り・楼門までの動線 を作りたい。提灯など | 観光客は行くところがわからず、図書館や武雄神社に行く人が多い。 |
| | ランチ | |
| | まちで昼食を食べる場所の少ない | |

【地域可能性】

| 組織 | 景観 | 仕組み(運営側) |
|--|--------------------------------------|---------------------|
| 温泉通り振興会に入っていない店にも声がけし、取組む人を増やすよう意識。 | 温泉通りの街灯は、老朽化で取替えてほしい。常時提灯を吊ってもいいのでは。 | 中央公園やまちなか広場を広く使いたい。 |
| 仕組み(客側) | | |
| まちなか広場にお店や活動の場があると、駅から楼門までのエリアが一体的に捉えやすくなり、人の流れが続くと考えられる。 | | |
| 修学旅行のプログラムとして、東洋館で紅茶教室、京都屋で古いオルゴールを聴きながらお茶を飲むなどを考えられている。 | | |
| 駅～楼門の 回遊性 を高め、乗り換えの時間を楽しめたら。「温泉まで〇メートル」の看板をつける計画があったが、予算がなく立ち消えた。駅から温泉通りの動線を作ってほしい。 | | |

5. まちなか公共空間での第1回実証実験の企画

エリアの課題を整理した上で、NTEを主軸とし第1回社会実験の内容企画のワークショップを行った。
日時:2020年10月20日

ワークショップでは、事前の実証実験の実施場所として考えられる各エリアにおいて、火器の使用などの規制や条件等を整理した表を参加者へ共有した。
「どこで」「何をしたいか」について、参加者から様々なアイデアが出された後、実際に11月に実証実験を行うにあたって現実的な案を絞り込み、実施コンテンツが確定した。

<確定内容>

- ・実施日程:2020年11月21日(土)、22日(日)15:00~21:00
- ・実施コンテンツ:千年夜市ゆうわく横丁(飲食、物販、ステージ)、
高架下マーケット・ストリートミュージシャン、泊まれる公園、GOTOスナック
- ・実施場所:在来線高架下、旧市庁舎跡駐車場、中央公園、保養村

<ワークショップの様子>



6. 第1回実証実験

「武雄温泉千年夜市」では、旧市役所跡地、在来線高架下にて飲食・物販とステージ、中央公園にてキャンプを行ったほか、スナックで使えるクーポンの配布も実施し、2日間で4,500人が来場した。



(ナイトマーケット)



(宿泊体験)

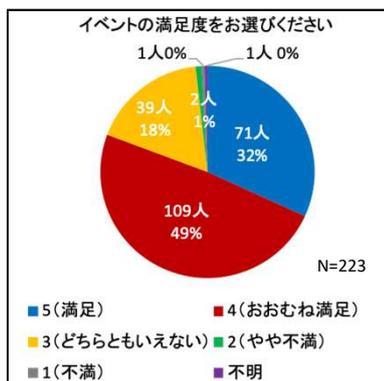


(ライブドローイング「未来のまち武雄」)

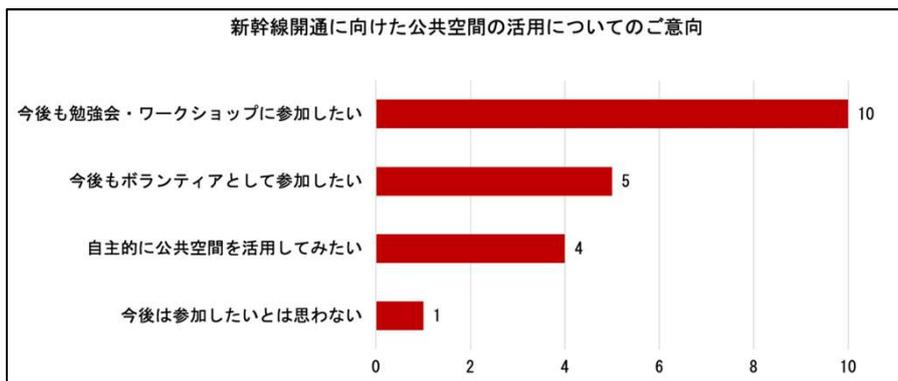
7. 参加者の声

来場者・出展者・実行委員会に対してヒアリング・WEBでのアンケートを実施。また、企画の初めに設定した事業の3つのポイントを軸に、実験の評価を行った。

〈来場者の声〉



〈実行委員会の声〉



〈第1回実証実験の評価〉

| 事業のポイント | 総評 | 次回の課題 |
|---------------|---|---|
| 1 他にはない武雄らしさ | ◎ ・GOTOスナックは外からの人には新鮮で、地元の人にも満足いただけ、夜市とうまく連動していた ・地元の店舗と福岡の店舗がうまく混ざり合い、地元の人にも外から来た人も楽しめる企画になっていた | スケボーの活動をしている若い層がもっと活躍できる場があると良い。武雄らしさがある。 |
| 2 空間の使いやすさ | △ ・新幹線の高架下が活用できなかった△ ・駅周辺だけではなく保養村も活用でき、ニーズが知れた用途により改善のポイントあり。把握できたという意味では○ | 新幹線高架下の活用 |
| 3 市民参加度・市民満足度 | ○ 参加度 ・ナイトタイムエコノミー委員、市民の有志を構成員とし、全体の進行管理は千年夜市(福岡市)が担った 満足度 ・これまでの市でのイベントとは違う層の参加が多く、来場者数も多かった。市民の満足度は高かったと言える | 意欲的な市民によるさらなる主導 |

<ポスター> <チラシ表>

武雄温泉 千年夜市
TAKED FREEDOM NIGHT MARKET

食 (FOOD) 武雄かわく横丁 武雄と福岡の人気店が集結!

楽 (PERFORMANCE) 秋空のステージ ミュージシャンやDJが盛り上げる!

探 (MARKET) 高架下ナイトマーケット 雑貨やアクセサリーに思いっきり目も眩し!

泊 (CAMP) 泊まれる公園 テントを張って公園に泊まる!

香 (SNACK) GoToスナック スナックで使えるクーポン配布!

2020.11.21sat・22sun 15:00~21:00

武雄市街中心部(旧市庁舎跡駐車場/在来線高架下/中央公園)

<チラシ裏>

メイン会場のコロナ対策について

対策1 検温・アルコール消毒
対策2 入場制限

メイン会場(旧市庁舎跡駐車場)では、新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用でのご入場をお願いいたします。入り口では、検温とアルコール消毒を行い、入場していただく方にはリストバンドを装着させていただきます。会場内ではソーシャルディスタンスを保って、お楽しみください。

新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA
陽性者と接触すると通知してくれるアプリです。

ご来場の方はマスクの着用をお願いいたします。

武雄市までのアクセスマップ

電車
博多からJR特急で約70分
佐世保からJR特急で約50分

車
博多から高速で約70分
佐世保から高速で約40分
駐車場は武雄市役所前駐車場へ
佐賀県武雄市武雄町 大字昭和12-10

Googleマップで詳細チェック!

千年夜市は皆様の愛で成り立っています。その為、持ち込み飲食物のテーブル利用はご遠慮ください。

<チラシ中面>

武雄温泉千年夜市 エリアマップ

A 在来線高架下
高架下エリアが面白い! 雑貨店がオープンしたり、路上ライブが始まったり、テーブルとイスが設置され、高架下がクラスに早変わり!

B 泊まれる公園 in 武雄
11/21(土)限定
まちなかにテントを立てて泊まっちゃおう!
会場:中央公園+RVパーク
武雄温泉保養村もよし広場テントサイトご予約・詳細はこちらのQRより▶

C 旧市庁舎跡駐車場
11/22(日)限定
朝コ方
あさ9時開始
(※20:00まで予約ください)
体験費無料(参加費)
講師:馬場雅美
希望者多数の参加、先着順とさせていただきます。

D GoToスナック & 武雄の名店街
GoToスナック 再び18:00~
夜市メイン会場 武雄かわく横丁 & 秋空のステージ
SPINNSの古着ガレージセールも開催!

高架下マーケット、ナイトテラス、ストリートミュージシャン
中央公園 夜市メイン会場
泊まれる公園 in 武雄
旧市庁舎跡駐車場
川端通り・中町:温泉通り
武雄温泉駅

川端通り ライトアップ点灯式
21日19:00に川端通りにて日本酒で乾杯!

GoToスナック 再び18:00~
夜市あとは武雄の夜へGO!
参加スタックで最大5,100円クーポンを、10,300枚無料配布します!2日間限定!

本イベントは公共空間活用の実証実験となっており、アンケートのご協力をお願いすることがございます。手際等あるかと存じますが、ご理解いただければ幸いです。

8. まちなか公共空間での第2回実証実験の企画

第1回実証実験の課題として、次の3つを挙げた。

- ・若い層がもっと活躍できる場
- ・新幹線高架下の活用
- ・意欲的な市民によるさらなる主導

これら3つの課題から、第2回実証実験では **活用に意欲のある若い層への声かけを優先的にを行い、新幹線高架下の活用方法を検討した。**

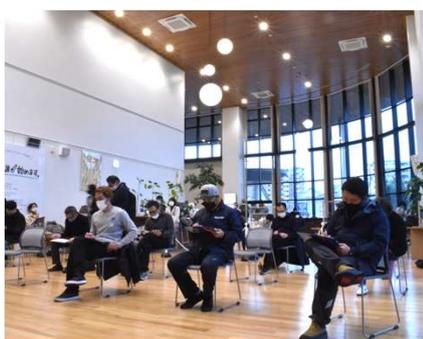
声かけについては、「高架下でスケボーランプを作りたい」との具体的な思いがあった白岩スケートボード愛好会と、出展者アンケートでの前向きな意見があったSPINNS(服飾物販)を中心に参加者を公募し、企画内容づくりワークショップを行った。内容については以下の通りである。

日時:2021年1月23日

「高架下で何をしたいか」について、参加者から様々なアイデアが出された後役割分担を行い、実施コンテンツを仮確定。その後レイアウトの検討や出展者への声かけ、利用規制等を鑑み、下記のコンテンツに確定した。

<確定内容>

- ・実施日程:2021年3月20日(土)11:00-18:00、21日(日)11:00-16:00
- ・実施コンテンツ:高架下オープンテラス、スケボーランプ、
KODOMO TO CHARI(ランバイク体験)、
GOTOドッグラン、GOTOスナック
- ・実施場所:新幹線高架下、旧市庁舎跡地駐車場



9. 第2回実証実験

第2回実証実験では公募及び公共空間活用に意欲のある若い層への声かけを優先的に行い、新幹線高架下と旧市庁舎跡地駐車場にて「武雄ストリートパーク」を実施。2日間で2,800人が来場した。



(スケボーランプ設置)

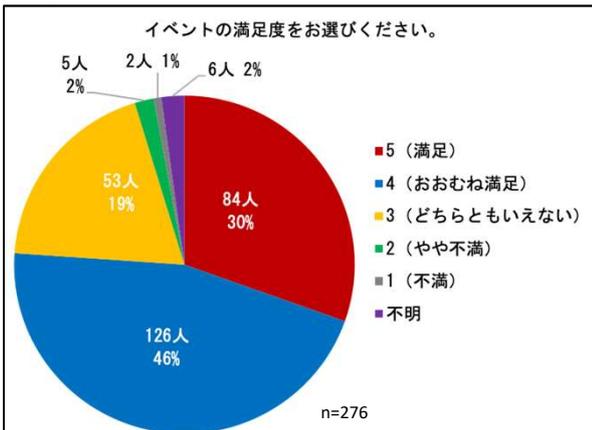
(スケートボード)

(ドッグラン)

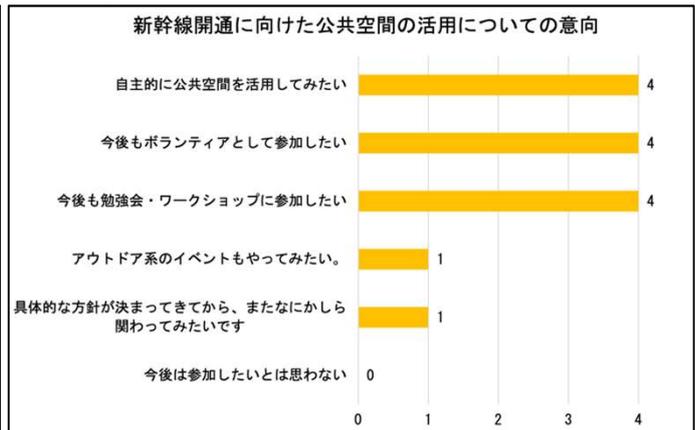
10. 参加者の声

第1回と同じくアンケートを実施、事業の3つのポイントを軸に実証実験の評価を行った。

〈来場者の声〉



〈実行委員会の声〉



〈第2回実証実験の評価〉

| 事業のポイント | 総評 | 今後の課題 |
|---------------|---|---|
| 1 他にはない武雄らしさ | <ul style="list-style-type: none"> 来街者には「武雄でスケボーをしている人がこんなにいるのだ」とインパクトが大きかった。前回「スケボー活動をしている若い層が活躍できる場を」と言っていたのが実現できた 地元の店舗と福岡の店舗がうまく混ざり合い、地元の人にも外から来た人も楽しめる企画になっていた | 千年夜市/ストリートパークだけではなく、既存の武雄のイベントにも武雄らしさや運営ノウハウを伝染させると良い |
| 2 空間の使いやすさ | <ul style="list-style-type: none"> 前回活用できなかった新幹線高架下が活用できた 改善のポイントが把握できた | 電源、給排水設備の整備や、使いやすいルール・利用申請方法の改善 |
| 3 市民参加度・市民満足度 | <ul style="list-style-type: none"> 参加度 前回よりもさらに市民の役割が増えた 市の事業ではないところで、今後の活用予定もあり 満足度 実行委員はノウハウや店舗等とのつながりができた | 意欲的な市民によるさらなる主導 |

<ポスター> <チラシ表>

武雄ストリートパーク構想

高架下に2日限りのストリートパークが出現!
食べて、遊んで、お買い物も楽しもう!

ストリートパーク

2021.3.20 sat 11:00 ~ 18:00
21 sun 11:00 ~ 16:00

入場無料 雨天決行・荒天中止

※新型コロナウイルス感染症拡大により中止となる場合がございます。

場所：新幹線高架下（旧市庁舎跡駐車場横）

【主催】武雄ストリートパーク構想実行委員会【共催】武雄市新幹線活用プロジェクト【協力】自治公園スケートボード愛好会、武雄市図書館、千年夜実行委員会、（株）ダイスプロジェクト【お問い合わせ】武雄ストリートパーク構想実行委員会 担当/福岡 090-5489-5747

<チラシ裏>

会場のコロナ対策について

対策1 検温・アルコール消毒

対策2 入場制限

メイン会場（新幹線高架下）では、新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用のご入場をお願いいたします。入り口では、検温とアルコール消毒を行い、入場していただく方には入場ステッカーを貼らせていただきます。会場内ではソーシャルディスタンスを保って、お楽しみください。発熱や体調不良の方はご遠慮ください。

新型ウイルス接触確認アプリ
COCOA
陽性者と接触すると通知してくれるアプリです。

ご来場の方はマスクの着用をお願いいたします。

武雄市までのアクセスマップ

電車
博多からJR特急で約70分
佐世保からJR特急で約50分

車で
博多から高速で約70分
佐世保から高速で約40分
駐車場は武雄市役所前駐車場
(佐賀県武雄市武雄町 大字昭和 T2-10)
または旧市庁舎跡駐車場へ
(佐賀県武雄市武雄町 1-1)

Googleマップで
詳細チェック!

本イベントは皆様の愛で成り立っています。
その為、持ち込み飲食物のテーブル利用はご遠慮ください。

ゴミの分別とステッカーの貼付方法

<チラシ中面>

高架下に2日限りのストリートパークが出現! 食べて、遊んで、お買い物も楽しもう!

A 高架下オープンテラス
武雄や福岡周辺の名店が勢揃い! 美味しいフードにオシャレな古着、雑貨も出品します。2日間限定のオープンテラスに生まれ変わる高架下を遊びましょう。

B スケボーランプ
高架下に11m×6mのスケボーランプが登場! プロスケーターによるデモンストレーションは必見です。
スター参加費: 500円

C KODOMO TO CHAR!
ランバイク(ペダルなしの子ども用自転車)の体験ブースが登場。お子様連れで遊びに来てください!
会場: 旧市庁舎跡駐車場
主催: CRANK BICYCLE STORE
対象年齢: 未就学児

D GO TO ドッグラン
入場料: 500円
レッスン参加費: 500円(事前予約)
レッスン内容: ①基礎オビエクション(1日/1回) ②基礎トリス(1日/1回) ③基礎トリス(1日/1回)
レッスン予約方法:
https://www.facebook.com/gotodogrun/

演出 巻の風車
高架下映像作品上映

D GO TO スナック 1,000円無料クーポン配布
3/20(土) 12:00-18:00 3/21(日) 12:00-16:00
※1日300枚配布なくなり次第終了
facebookページ: https://www.facebook.com/gotonacktakeo

会場 新幹線高架下
GOGO市会場 まちなか広場
GOGO市会場 中央広場
旧市庁舎跡 駐車場
市役所駐車場

飲食店
タケオバル SOL DE VERANO
ブリトー/パスタチーズケーキ/スクローン
MOHANO キンパ
GOOF COFFEE STAND コーヒー
TRESOL ガバオライス/カレー/アルコール各種

雑貨店
Cafe museum&TRAFFIC ボトフ/雑貨/ドリンク/古着
TWO PLY YARN アパレル/アクセサリー/小物

物販店
SPINNS メンズ/レディース衣料品/雑貨
uriluna 生花/ペイントアート(有料)

体験
おひるねアート one 互ひるねアート撮影
ゆずの木 書物体験

業務協力
guminoki 緑替え/観葉植物

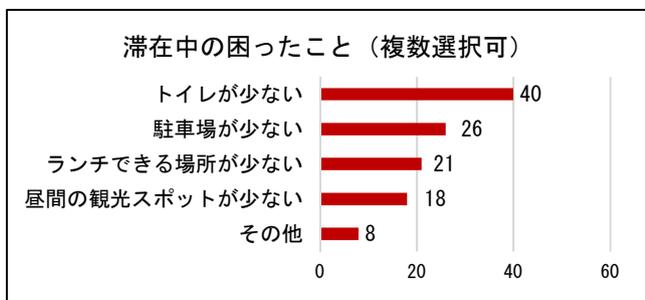
and more...

11. 考察

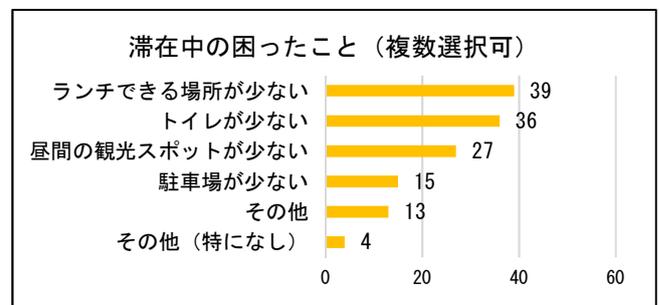
- (1) 全2回の実証実験を踏まえ、それぞれの公共空間について可能性のある活用方法をまとめた。
また、実証実験の来場者に対して武雄市滞在中に困ったことを調査し、以下のような結果を得た。

| 項目 | 今回活用した公共空間 | 今回未利用の場所 | 昼間の充実 | 駅から、主要観光スポットのつながり | 子どもが遊べる場所の少なさ |
|----|---|---|--|--|--|
| | 新幹線高架下、旧庁舎跡地の利活用 | 駅南口駅前広場(工事前) | (課題) まちで昼食を食べる場所の少なさ | (課題) 駅、楼門と図書館・武雄神社間の賑わいの分断 | (課題) 遊具がある公園がなく、学生は市役所や図書館で勉強している人が多く、親子連れはあまり見られない |
| 提言 | ◆新幹線高架下 イベントスペース 飲食・物販 ドッグラン ◆旧庁舎跡地 イベントスペース RVパーク 駐車場 | イベントスペース チャレンジショップ など (一定の集客が見込めるため) | ポップアップやチャレンジショップでもいいので空き店舗や空き地、公共空間の一部に出店ができるようにすることでその後の定着も期待 | 駅、楼門、図書館をつなぐ動線にあるまちなか広場の活用。 回遊性を促すレンタルサイクルの設置 | 子ども、学生が遊べる場所、活動できる場所の整備 |

< 第1回実証実験 来場者アンケート結果(n=113) >

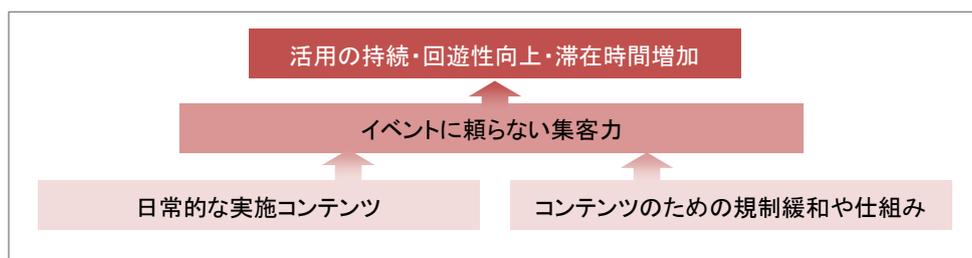


< 第2回実証実験 来場者アンケート結果(n=105) >



(2) 公共空間のソフト(運用)への提言

次にソフト面についてであるが、活用の持続性や回遊性向上、滞在時間増加のためには、イベントに頼らない集客力が必要である。そのためにも、**[A:できるだけ日常的に行われる公共空間での実施コンテンツ]**と、**[B:そのコンテンツをやりやすくするための規制緩和や仕組み]**が必要である。



Bの具体的な規制緩和や仕組みについては、下記の2つのポイントから考察したい。

・手続きの簡略化

現在は申請書類への記載等が必要な手続きを、例えば、LINE等のSNSやWEBサービスで利用申請ができるなど簡略化することで、市民による公共空間活用のハードルを下げるができる。

参考事例

▷千葉県「ちば施設予約サービス」

24時間365日、公共施設の空き状況の確認や予約申請がweb上でできる。公園等屋外公共施設は対象ではないが、施設名/利用日時/目的や人数から検索ができるようになっている。

・ルールの簡略化

今回の実証実験でのヒアリングでも、「何かしたいと思っても禁止事項が多く、何ができのかがわかりづらくモチベーションが下がってしまう」との意見があった。利用のルールをわかりやすく**簡略化して市民にオープンにする**と共に、「〇〇禁止」ではなく「〇〇できる」など、「それ、武雄がはじめます」のスローガンにも合うような、**意欲のかき立てられるルール**を設置してはどうか。

| | 自由使用 | 行為使用 | 占有使用 |
|-----------------|------|------|------|
| 個人やグループで自ら楽しむ場合 | 自由使用 | 行為使用 | 占有使用 |
| 非営利 | OK | OK | OK |
| 営利 | NG | NG | OK |
| 空間の占有 | なし | なし | あり |
| 露出 | なし | あり | — |
| 承認申請 | なし | なし | あり |

参考事例

▷愛知県豊田市「新とよパーク(新豊田駅東口駅前広場)」

※詳細は次ページの事例にて紹介

| アイコン | ボール遊び できます | ストリート・スポーツ できます | 火の使用 できます | 音楽演奏 できます | イベント できます | 出店・販売 できます |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 自由使用 | 自由使用 | 自由使用 | 自由使用 | 行為使用 | 占有使用 | 占有使用 |
| コングリートエリア | コングリートエリア | コングリートエリア | 築山・土エリア | 全エリア | 全エリア | 全エリア |
| 大人数やイベント時、設置物を置く場合は占有承認申請が必要です | 大人数やイベント時、設置物を置く場合は占有承認申請が必要です | 大人数やイベント時、設置物を置く場合は占有承認申請が必要です | 大人数やイベント時、設置物を置く場合は占有承認申請が必要です | 目的に応じて行為使用の届出又は、占有承認申請が必要です。 | 占有承認申請が必要です。また内容によって各種許可が必要です。 | 占有承認申請が必要です。また内容によって各種許可が必要です。 |

今回の実証実験では、例えば高架下のスケボーランプは騒音問題につながりかねないため別のコンテンツが望ましいことや、保養村や中央公園は通常の利用者も多いためキャンプ宿泊者の占有は避けた方が良いなど、空間活用の懸念点もあった。

それら懸念点を考慮して実施コンテンツを検討する必要があるが、指定管理者の公募を検討することで、より日常的な公共空間活用が可能になる。

参考事例として下記5つ、指定管理者や市民の管理によって活用されている公共空間を記載する。また、参考事例は運営団体の構成によって、「市民主体型」、「周辺事業者主体型」、「企業主導型」の3つに分類して記載する。

A: 市民主体型

・しんとよパーク(愛知県豊田市)

選定理由: 実証実験も踏まえて市民主体でコンテンツやルールを考え、運営も市民が行っている公園であることから、本業務との共通点が多く見られるため。

機能:

- ①築山エリア…ペグが打ち込める
- ②コンクリートエリア…スケートボードなどができる
- ③土エリア…木製遊具の設置やイベント時のnテントの設置ができる
- ④インフラBOX 兼ベンチ…電源や証明を備えたインフラBOX 兼ベンチ

・草津川跡地公園(滋賀県草津市)

選定理由: 市民の活動の場であると同時に市民の主体性を育てることを目標に運営を行なっている公園であることから、本業務の参考になると考えたため。

機能:

- ①de愛ひろば…「人と人の交流」がテーマのエリア
構成: (にぎわい活動棟・イベント広場・駐車場・ガーデンエリア・クサツコリバ(商業施設))
- ②ai彩ひろば…「農と人生の共生」がテーマのエリア
構成: (にぎわい活動棟・交差点広場・スクールガーデン・多目的広場・駐車場・GREEN LOFT THE PARK(商業施設)・Strawberry Factory(商業施設))

B: 周辺事業者主体型

・南池袋公演(東京都豊島区)

選定理由: 行政と地域とが協働しながら公園空間の良好な保全と健全な賑わいを創出し、地域の活性化を図ることを目的に、カフェレストランの運営や芝生広場の整備が行われている点など、本業務の参考になると考えられる。

機能:

- ①芝生広場・・・一年中みどりの芝生が広がる広場
- ②多目的広場・・・カフェレストランと隣接したフリーWifiエリア
- ③サクラテラス・・・豊島区発祥のソメイヨシノが植わる
- ④キッズテラス・・・すべり台などの子供用遊具があるエリア
- ⑤カフェレストラン・・・生産者と消費者の食を介したつながりの場を目指した

C: 企業主導型

・柏の葉かけだし横丁(千葉県柏市)

選定理由: 高架下という立地を生かした飲食店舗の開発や、スポーツに関する施設を運営していることから本業務との共通点が多くみられるため。

機能:

- ①小型飲食店舗・・・様々なジャンルの19店舗からなる飲食店舗群
- ②ランナーズステーション・・・ロッカー・シャワールームを備えたランニングの拠点となるカフェ

・渋谷区立北谷公演(東京都渋谷区)

選定理由: 企業や地域と連携したイベントや、フードトラックなどの出店を計画しており、地域のにぎわい創出や活性化を目指し取り組んでいる点が本業務の参考になると考えたため。

機能:

- ①ランウェイエリア・・・最も広く様々な過ごし方ができる広場
- ②大屋根エリア・・・カフェと隣接した半屋外イベントエリア
- ③ステップエリア・・・段差を使って設置されたベンチで寛げるスペース
- ④ Building 1F&2F・・・ブルーボトルコーヒー初の公園内カフェが出店する地上2階建て構造物

(3) 公共空間以外の提言

アンケートや現地踏査時のヒアリングで、公共空間以外の課題と提言について記載する。

a. 昼間の充実

昼間の充実が少ないとの声が来街者を中心に挙げられた。宿泊者がホテルにチェックイン後、まちで昼食を食べる場所の少なさも課題としてある。

- ▶ **ポップアップやチャレンジショップ**でも良いので、**空き店舗や空き地、公共空間の一部に出店**ができるようにすることでその後の定着も期待する。



吉富町 駅前チャレンジショップ

b. 駅から、主要観光スポットである楼門までのつながり

駅、楼門と図書館・武雄神社間のにぎわいの分断を改善し、まちなかの回遊性を向上。また、電車で武雄を訪れた人がどこに楼門があるのかが認識しづらい。

- ▶ 駅、楼門、図書館をつなぐ動線にある**まちなか広場の活用。回遊を促すレンタサイクルの設置等**
- ▶ 楼門までの足元サインの整備など



c. 駐車場のわかりづらさ

無料であることは魅力的だが、使っていない駐車場がどこにあるのか、来街者にわかりづらい。また、イベント時に駐車場の不足が想定されたが、旧市庁舎跡地駐車場とまちなか広場をうまく使えば大丈夫であった。

- ▶ **駐車場(特に旧市庁舎跡地駐車場)のサイン**整備



d. 子どもが遊べる場所の少なさ

第2回の実験は特に親子連れが多かったほか、遊具がある公園についても尋ねられた。まちなかはスナック等で大人が夜遊ぶ場所が多いが、学生は市役所や図書館で勉強している人が多く、親子連れもあまり見られない。

- ▶ **子ども、学生が遊べる場所、活動できる場所の整備**



e. 空き店舗の多さ

特に武雄温泉通りには空き店舗が多く見られ、商店街でもオーナーを把握できていないところが見られる。公共空間に隣接する店舗前の空きスペースや空き店舗などを、公共空間と一体的に活用することで活用の可能性も広がる。

- ▶ **パーキングデイ等による更なる活用実験の実施**
- ▶ **空き店舗の把握と公表、テナント募集の実施**



(4)ハブ都市推進の視点で考える公共空間のあり方

- ・新幹線の乗り換えが武雄温泉駅になることから、これまで唱えてきた「ハブ都市」要素がさらに強くなり、来街者から見てまちに対する利便性等が期待される。ただし、乗り換えは**対面乗り換え**であることから、**本駅で降車してもらうのは想像以上にハードルが高い**。
- ・また、新幹線は開通するが、**現状観光客は車で来街が多く**、乗降客数のうち住民が多くを占める。
- ・本業務やこれまでの市の業務の中で調査した、特に駅前広場についての住民の要望には下記のような意見があった。(新幹線活用プロジェクト会議、実証実験アンケートより)

1:「武雄らしさの視認性」

- ▶ 車窓から眺める駅周辺に温泉地と分かる雰囲気づくりが必要
- ▶ 駅から降りていただくための目玉づくり、しかけ
- ▶ 駅を降りてからの、温泉情緒がほしい

2:「購買機能」

- ▶ キャッチーでバエるような、オシャレ空間、若者がチャレンジしたくなるような小さな箱数個
- ▶ 駅周辺にコンビニが欲しい
- ▶ 地酒・地ビールを頂ける魅力的な店舗
- ▶ 週末には何かしら催し物や、飲食の販売なども入るといい
- ▶ 夜市が定期的で開催されたら良い

3:「交通の利便性」

- ▶ 駅を利用しやすいように駐車場が必要
- ▶ 送迎のし易さを期待
- ▶ 駅から、バス・タクシーに乗るのに濡れないための庇を作る
- ▶ 県西部への交通アクセスの充実
- ▶ バス乗り場の場所が分かりにくいので、1番乗り場は〇〇行き、2番乗り場は××行きなど分かり易い表示にしてほしい。
- ▶ 観光用の「レンタル自転車」、普段使い用の「シェア自転車」、シェアカー用のスポット。対人なしで移動手段をゲットできるような仕組みが欲しい

4:「駅利用者以外も来たくなる雰囲気」

- ▶ 駅からパッと見たときに、コンクリートの冷たい景色より、緑の景色。ベンチがあって人がいる。移動屋台などが並べられるスペース。自由に使えて人が集える緑の広場。
- ▶ 観光客にも、武雄の入り口として魅力的に映るような空間であってほしいと同時に、地元の方も自然と足を運べるような緑やゆったりした空間。
- ▶ 駅を利用しない人も集まったり、新幹線が好きな子供が新幹線を見るためだけに来るといったような場所

前ページでまとめた、ハブ都市としての駅前広場等公共空間の重要な視点4つに加え、他都市との差別化も重要となってくる。

周辺都市も含めた観光のニーズを考えると、**佐賀県内での宿泊場所は武雄と嬉野**が有力である。**ナイトタイムエコノミーの充実**はこれまで通り推進していきながらも、現在も課題としてあげられている**「昼間の充実」の創出**と、主要観光スポットでもある駅・楼門・図書館をつなぐまちなかの公共空間で、**いかに武雄らしいコンテンツを生み出して差別化し、武雄で降車してもらうかが重要**である。

また、公共空間においては

①点在する観光スポットをつないで、まちなかの滞在時間を伸ばす

②電車の待ち時間に駅周辺で時間が潰せるコンテンツのニーズは高いと考えられる

以上のことから、駅周辺の高架下や駅前広場の活用は特に重要であると言える。

<ハブ都市としての重要な活用場所>

電車の待ち時間からのニーズ + 観光スポットをつなぎ滞在時間を伸ばす



主要スポットである楼門と武雄市図書館/武雄神社間をつなぐ

駅周辺の**高架下やまちなか広場、中央公園、旧市庁舎跡駐車場、駅前広場**は重要

<ハブ都市としての空間活用の重要な視点4つ>

1:「武雄らしさの視認性」

2:「購買機能」

3:「交通の利便性」

4:「駅利用者以外も来たくなる雰囲気」

12. 駅前広場のイメージ図の制作

駅前広場のパースはアイレベル、鳥瞰、夜景の3点を制作することとした。
制作においては、①武雄温泉駅の利用者 ②整備前の駅前広場の利用者 ③コロナ前の武雄の観光客 の情報を整理したほか、新幹線活用プロジェクト会議や本事業で行った実証実験のアンケートで出た意見などから、パースに入れる要素を整理した。

駅前広場の利用者に関する情報整理

①武雄温泉駅の利用者

- ・1日あたり3,000人程度
(乗車人数と降車人数はほぼ同数で各1500人程度)
- ・観光客のほとんどが自家用車で観光。
(鉄道利用者は1日90人程度)
→通勤、通学での利用がメインの可能性が高い

観光客向けの「顔」づくり
はもちろん通勤での利用者
向けの広場づくりも重要

②整備前の駅前広場の利用者

■バス事業者へのアンケート (R1年度)

- ・一日あたり武雄温泉駅の発着回数が最多で56回あり、乗降客も最多で約180人、
- ・発着回数、乗降客数ともに最も多いのは、嬉野・彼杵地域行きの路線である。

■タクシー事業者へのアンケート (R1年度)

- ・タクシー会社で南口の1日あたりの発着台数は約50台、乗降客は約75人

③コロナ前の武雄の観光客

■旅館組合会長、武雄市、観光案内所へのヒアリング (R2年)

- ・インバウンドが多かった
- ・学会の需要も高かった

パース作成にあたって、周辺施設と駅前広場の位置関係の整理を行った。

駅前広場周辺の状況

南北を繋ぐ起点

新幹線の北側にはスナック街が広がっており、夜・レトロなイメージがある。
一方、南側には武雄図書館や市役所、白岩運動公園などが立地し、昼・先進的なイメージがある。
駅前広場は南北の間に位置し、両エリアをつなぐ重要な場所となっている。



①設置したい要素 ②利用シーンの整理をおこない、駅前広場の3つの方向性を検討した。

①設置したい要素

- ・ レンタサイクル
- ・ シンボル
- ・ 足湯
- ・ (可能であれば) 屋根
- ・ 温泉情緒
- ・ 警察署
- ・ 観光案内所

②利用シーン

- ・ 長期的には長崎(大村)へ通勤する人の居住エリアとしたい
- ・ バス待ち、タクシー待ち、電車待ちの方が気軽に寄れる待合、時間調整スペース
- ・ イベントスペース
- ・ ペットの散歩中の休憩スポット
- ・ 旅行客の一時的な休憩スペース
- ・ 通勤での利用客の休憩スペース
- ・ (おしゃべりできる) 学生の自学スペース

駅前広場の3つの方向性

駅の利用実績を見ると、現時点では市民の利用が最も多く、観光客は自家用車の利用が中心となっている。新幹線整備後も乗り換えのために駅のホームから出ること難しい。このような状況を考慮し、市民の使いやすさを重視した「方向性B」を軸に、方向性Aや方向性Cの要素を取り入れた案とすることとした。方向性A～Cの内容については次頁に掲載している。

| 方向性 | 特徴 |
|---------------|--|
| A：イベントがしやすい広場 | 複数の異なる用途で利用できるよう、設備や地面の仕上げ、利用ルールなどを想定される用途に併せてゾーニングし、日常的にイベントが行われる状況を目指す案。 |
| B：市民に寄り添う駅前広場 | 現在の駅の利用者(=主に武雄市民)にとっての使いやすさを重視した案。 芝生広場やカフェなどのスペースを設け、通勤通学前後の時間調整の場として日常的に利用される状況を目指す案。 |
| C：観光客のための広場 | 観光客にとっての「顔」を意識した案。 オブジェや観光案内所などを整備し、観光客を歓迎するような広場とする案。 |

イメージパース(武雄温泉駅南口駅前広場)

公共空間のデザインを視覚的にわかりやすくまとめた、以下3点のイメージパースを作成した。



〈鳥瞰パース〉



〈アイレベルパース〉



〈夜景パース〉

13. ハブ都市推進のイメージイラスト図の制作

本業務と関連し、武雄における「ハブ都市推進」のイメージを伝えるためのイラストを依頼し制作した。第1回の実証実験でイラストを担当したアーティストによるもので①観光、②移住定住、③企業誘致のイメージを描いた全3枚を作成した。

①観光

新幹線開業により新たに生まれた鉄道高架下周辺での観光のあり方を表現するイラストとして作成。高架下は旅行者や市民が交流する憩いの広場となっており、コンテナハウスのオープンカフェや洋服やペット雑貨のショップが出店しているシーンを表現した。また、近接する中央公園や温泉通り等にも賑わいが染み出しているようなイラストとした。



②移住定住

武雄ならではの環境の良さを表現し、武雄市の目指す移住定住方向性をイラストとして作成。病院やスーパーなどの充実した住環境はもちろん、自宅に庭や畑が持てる環境や、豊かな自然を活かしたアクティビティができることを表現した。また、日常的に利用できる温泉も武雄の魅力の一つとして描いた。



③企業誘致

過去と未来の企業誘致のイメージを書き、武雄市の目指す企業誘致の方向性をイラストとして作成。これまでの企業誘致・参入のイメージとして、武雄図書館で市民が思い思いの過ごし方をしているシーンを描いた。また、新たな企業が参入するイメージとして、これまでの工業団地誘致に加え、IT企業が集積したり、アウトドア企業による体験施設やショッピングモールの誘致により多くの市民が楽しんでいる様子表現した。

